

# 西原町都市計画 マスタープラン

住民説明会用資料

令和 5 年 8 月 16 日 (水)

令和 5 年 8 月 18 日 (金)

西原町 建設部 都市整備課



# 都市計画マスタープランとは

おおよそ20年後の

『都市の将来像』と

将来像の実現に向けた

『都市計画の指針』

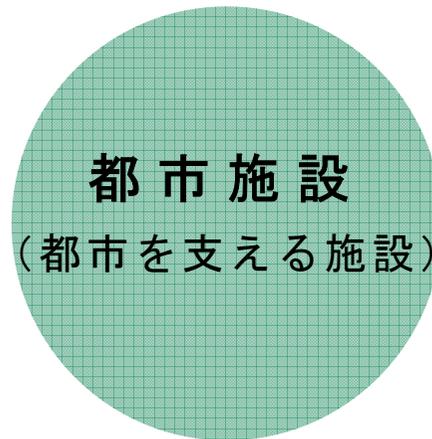
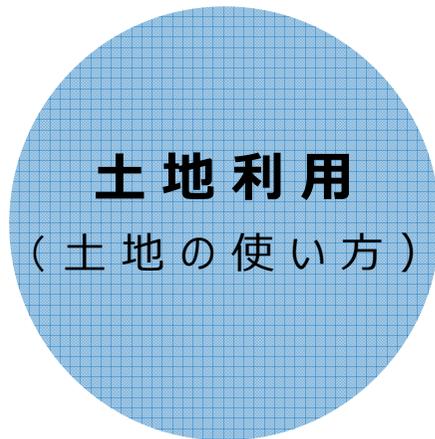
を示すものです

☞ メモ：都市計画法第18条の2

市町村は、（中略）当該市町村の都市計画に関する基本的な方針（都市計画マスタープラン）を定めるものとする。

# そもそも「都市計画」とは・・・

都市とは、人々が住み、働き、憩い、そしてふれあう場所。その都市の、



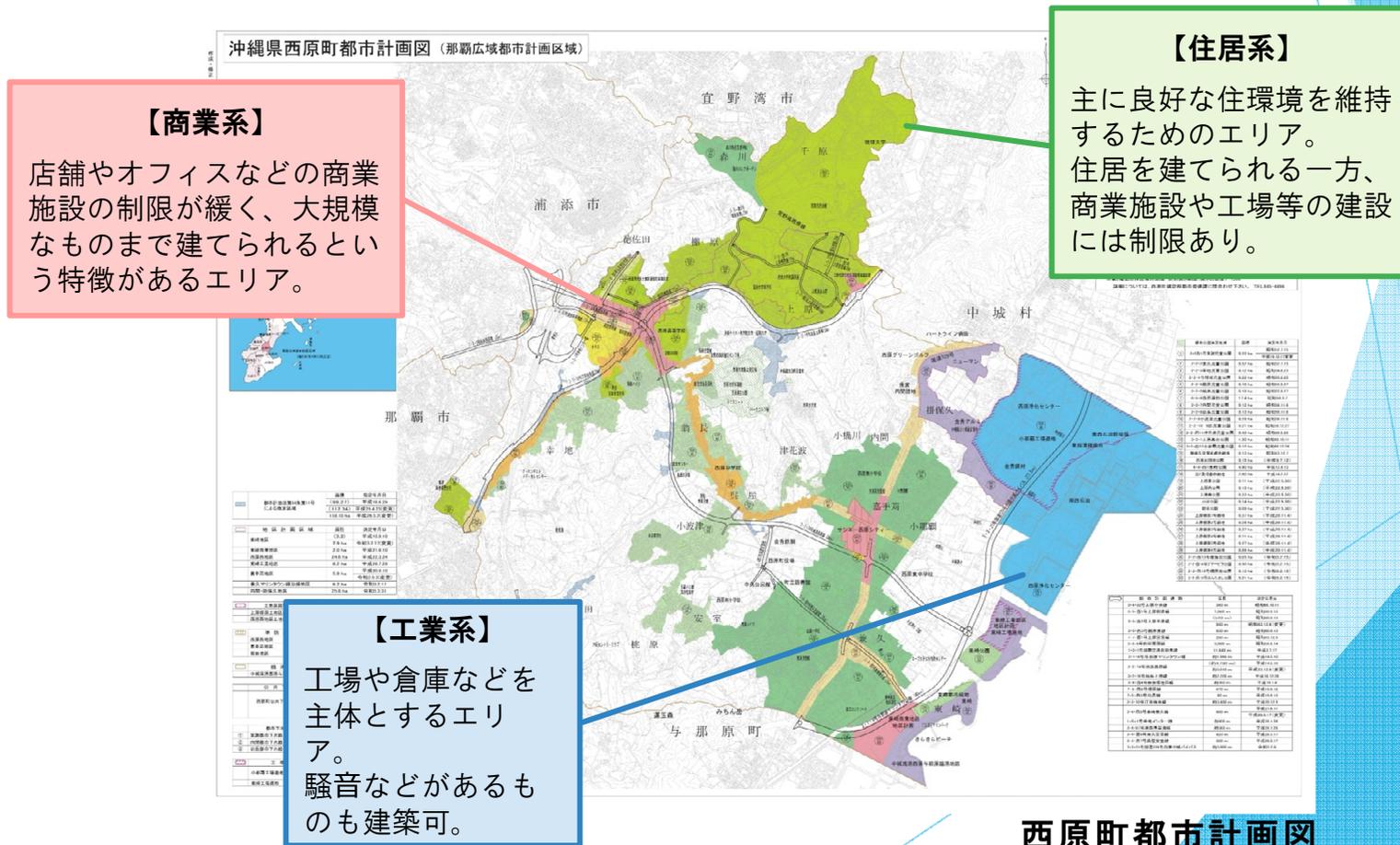
これらに関して定める計画を『都市計画』といいます。

(狭義の都市計画＝法律で定めるもの)

# 「土地利用」とは・・・

住宅地、商業地、工業地など、それぞれの地域のおおむねの**土地の使い方**を定めるものです。

また、その土地に応じた環境が確保できるよう、**建物の立て方のルール**を定めます。



西原町都市計画図

# 「都市施設」とは・・・

都市に必要な骨格となる道路、公園、下水道などの施設を  
『都市施設』といいます。これらの規模や配置などを定めます。



# 「市街地開発事業」とは・・・

新しいまちを作ったり、古くなったまちを作り直すために、まち全体の中でその**地区の役割**などを考えて、**ある区域で計画的に市街地の整備を行う**ものです。



西原西地区土地区画整理事業  
(町HPより)

# 都市計画では、次のような事も計画します。

交通  
まちづくり



景観  
まちづくり



自然環境  
まちづくり



福祉  
まちづくり



防災  
まちづくり



など…

## 都市計画マスタープランの役割

### ①都市の将来像の明示

都市全体あるいは地区別の将来像を明示し、行政のみならず、NPO、事業者等、様々な主体が共有するまちづくりの目標を設定します。

### ②市町村が定める都市計画の方針

市町村が定める都市計画は、都市計画マスタープランに基づいて運用を行っていきます。

### ③都市計画の総合性・一体性の確保

各個別都市計画の総合性・一体性を図るとともに、広域的な都市づくりへの整合性が確保されることが求められています。

### ④住民の理解・具体の都市計画の合意形成の円滑

住民参加により策定されることで、様々な主体が都市の課題や方向性について合意し、具体の都市計画の決定・実現が円滑に進むことが期待されます。

# 都市計画マスタープランの構成とは

## 『全体構想』

### ●まちづくりの目標

概ね20年後の将来像を定め、将来像を実現するための方向性や将来人口等の設定を行います。

### ●全体構想

まちづくりの目標に向かった各分野での取り組みの方向性を示しています。

土地利用に関する方針

市街地整備に関する方針

道路交通体系に関する方針

自然的環境に関する方針

防災まちづくりに関する方針

福祉のまちづくりに関する方針

都市景観に関する方針

## 『地区別構想』

地区別構想は、全体構想で示した、土地利用や市街地整備等のそれぞれの方針を、地区別に課題をあらいだして、詳細に示します。

## 『実現化方策の検討』

各施策を展開する際の基本的な考え方を示します。

# 西原町都市計画マスタープラン改定の目的・経緯

## 目的

近年、都市モノレールの延伸や幸地 IC 整備、大型 MICE 施設の建設計画、国道329号西原バイパス等の都市整備が進められており土地利用計画を見直す必要が生じている。

そのため、町内外の土地利用や基盤整備の動向等も踏まえ、「西原町都市計画マスタープラン」を改定する。

## 経緯

平成12(2000)年：「西原町都市計画基本計画」(当初計画)策定



平成24(2012)年：「西原町都市計画マスタープラン」策定



**改定の  
主な背景**

大型MICE施設建設決定を受け、整備及びMICE関連施策を効果的に推進するための土地利用の見直し

平成29(2017)年：「西原町都市計画マスタープラン」一部改定

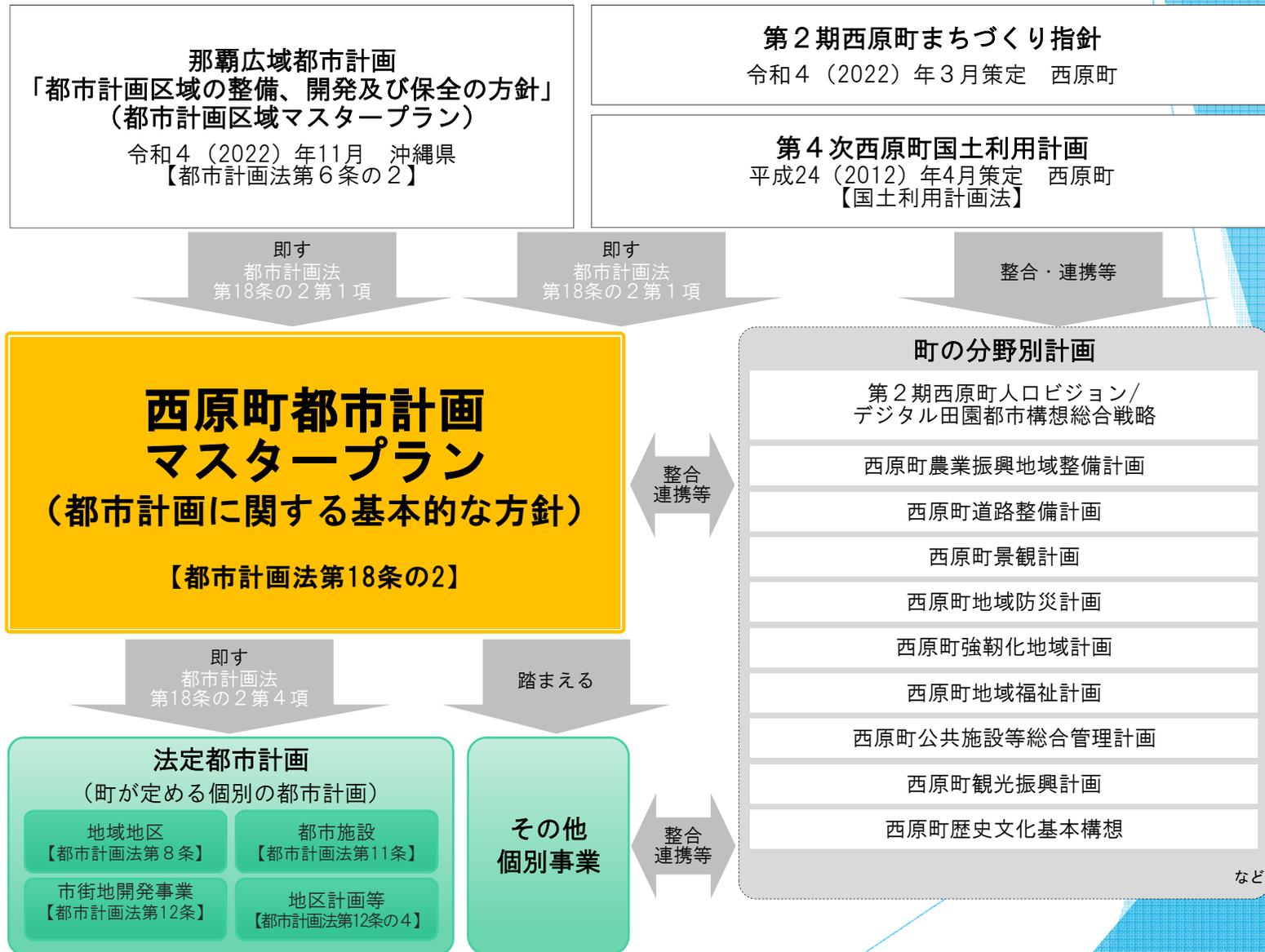


**改定の  
主な背景**

モノレールの延伸、幸地 IC 整備、329号西原バイパス等の整備による都市構造や社会情勢の変化

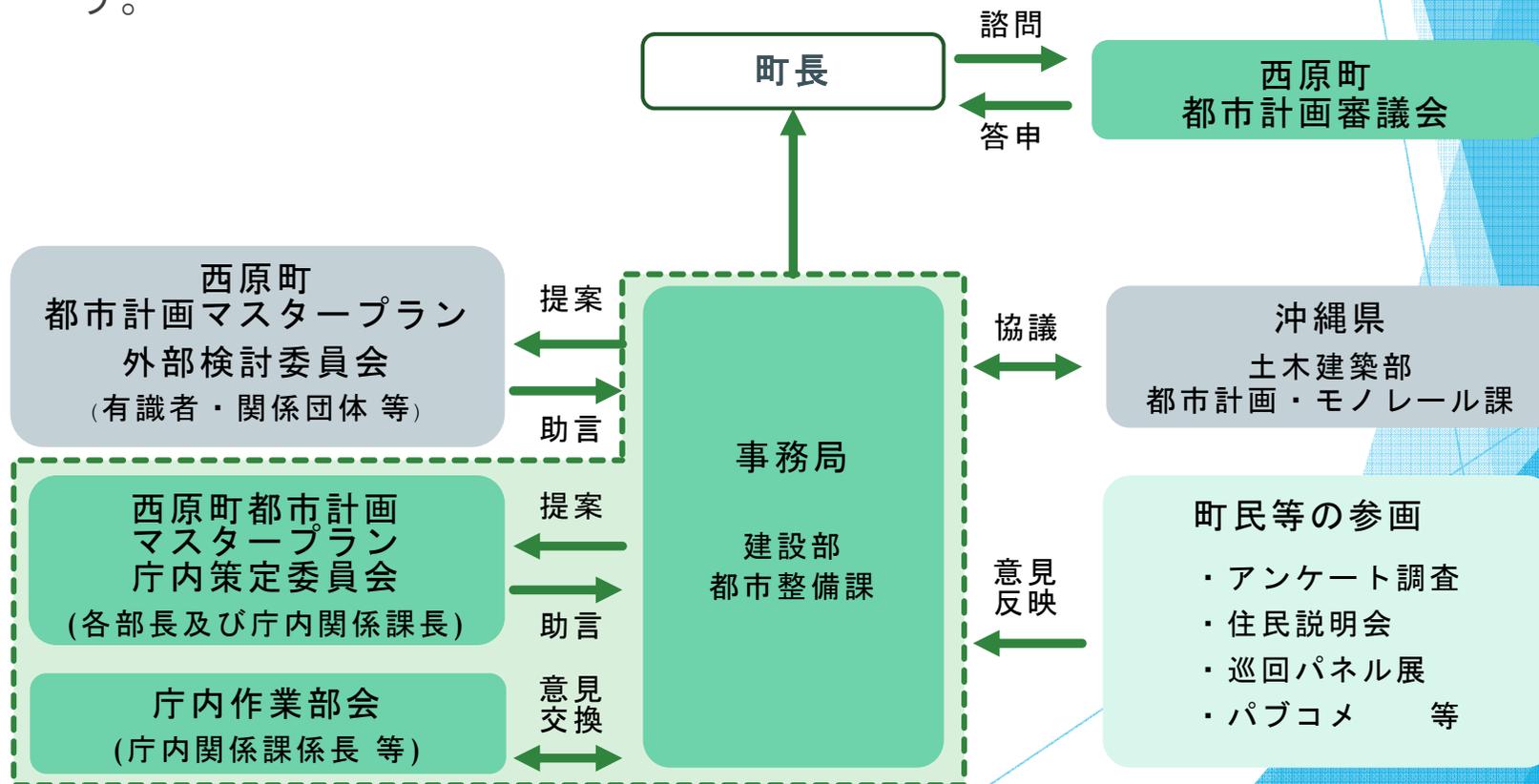
令和6(2024)年度：「西原町都市計画マスタープラン」改定(予定)

# 西原町都市計画マスタープランの位置づけ

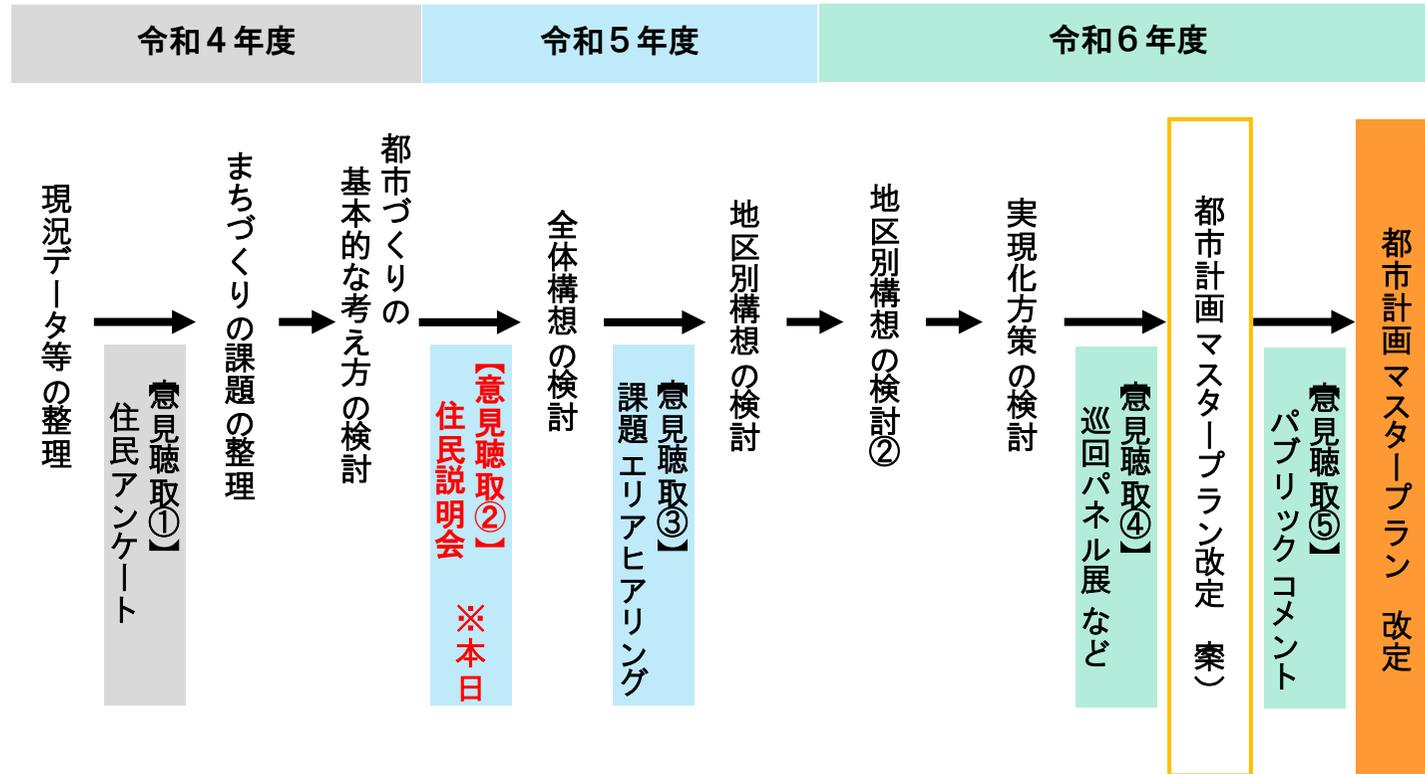


# 西原町都市計画マスタープラン改定体制

- 庁内体制として、建設部都市整備課を事務局とし、庁内係長級で構成される作業部会、部長級および課長級で構成される庁内策定委員会を設置する。
- 外部有識者で構成される外部検討委員会のほか、住民参画や、沖縄県都市計画・モノレール課への意見照会などを行う。



# 西原町都市計画マスタープラン改定スケジュール（案）



住民説明会



巡回パネル展



「西原町都市計画マスタープラン」  
見直しに関するアンケート調査  
(概要版)



## I. 一般アンケート調査の概要

### 1. 調査の目的

- 西原都市計画マスタープランの策定にあたり、将来のまちづくりに関する町民意向を幅広く反映させることを目的に、町民アンケート調査を行った。

### 2. 実施期間

- 令和5年2月6日に配布を行い、令和5年2月24日を締切りとした。

### 3. 調査対象

- 行政区別に、18歳以上の西原町に居住する町民から2,000人を対象とした。また、対象者の抽出方法は、無作為抽出とした。

### 4. 実施方法

- 調査票を郵送配付（2,000通）し、郵送回収、Webアンケートフォームでの回収を行った。

### 5. 回収状況

- 調査票を郵送配付（2,000通）し、郵送回収、Webアンケートフォームでの回収を行った。

	配布数（通）	回収数（件）	回収率（％）
郵送	2,000	370	18.5
Web	-	117	-
計	2,000	487	24.4

※統計学上で求められた必要サンプル数は「381件」。

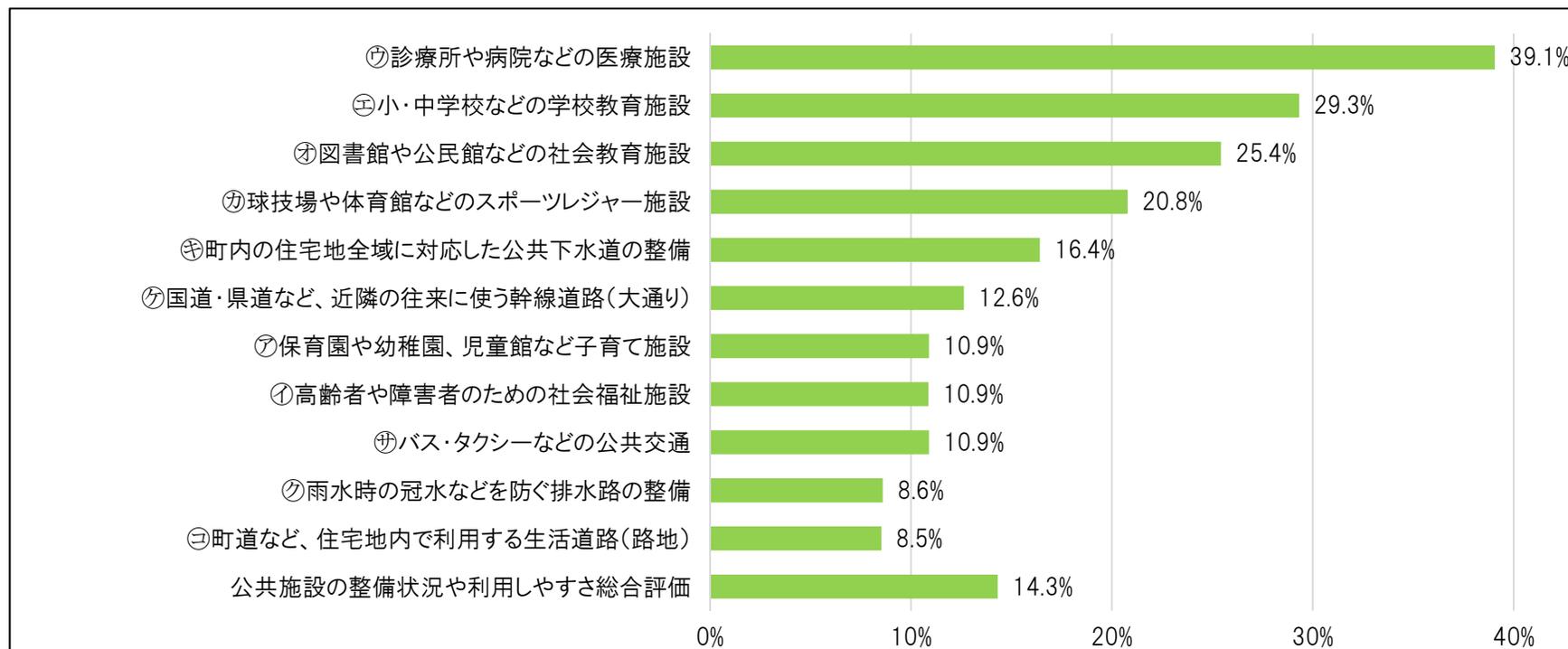
回収数(487件)は、それを上回っている事から、今回の調査は信用に足りうる結果だと捉える。

## 問11. 「公共施設等の整備状況や利用しやすさ」について、日頃どのように感じていますか。

今回調査の **満足度** を

高い順でみると「㊦医療施設」39.1%、「㊥学校教育施設」29.3%、「㊣社会教育施設」25.4%

低い順でみると「㊡生活道路(路地)」8.5%、「㊧排水路の整備」8.6%、「㊦子育て施設、㊩社会福祉施設、  
㊨公共交通」8.9%



※満足度とは・・・「満足」+「やや満足」の回答をあわせた構成比。(以下、同)

※『㊤スポーツレジャー施設』は、H22年の調査では「㊣公園や広場、緑地」としていた為、正確な比較対象とはならないが、ここでは参考として記す。(以下、同)

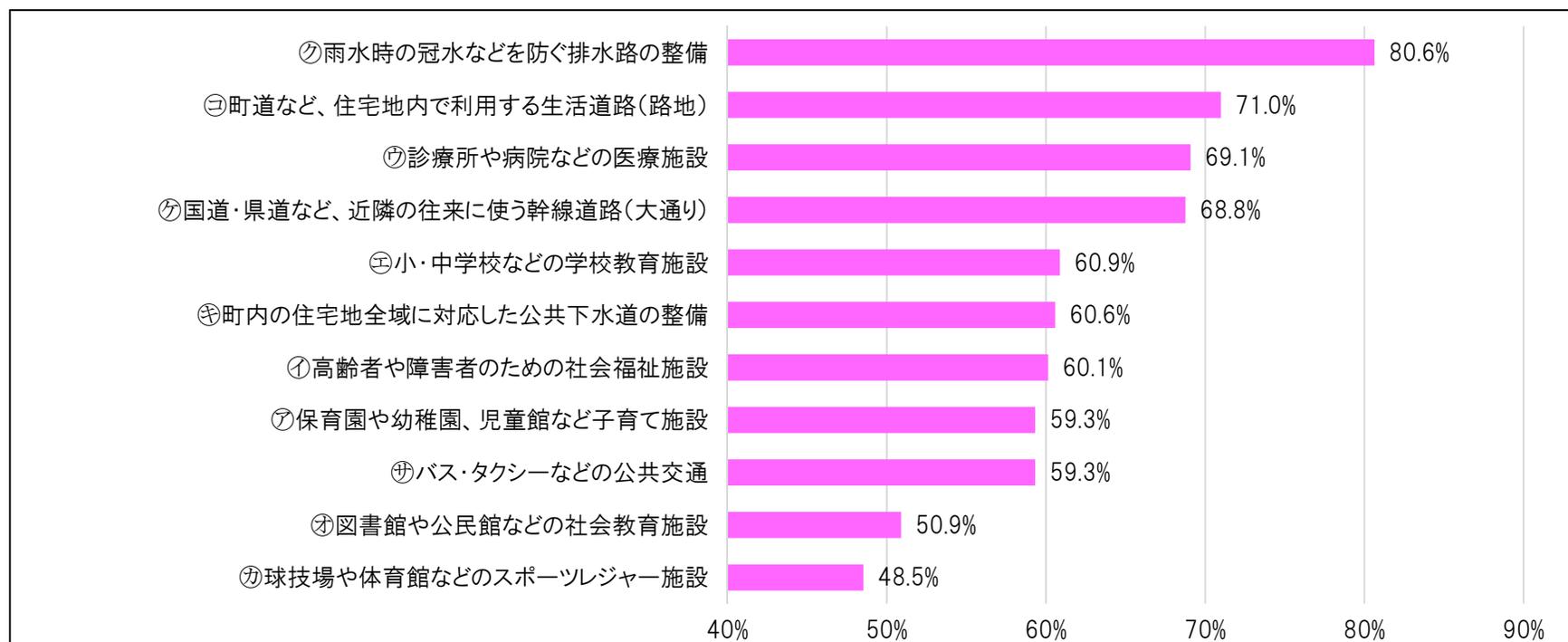
## 問11. 「公共施設等の整備状況や利用しやすさ」について、日頃どのように感じていますか。

今回調査の **重要度** を

高い順でみると「㊦排水路の整備」80.6%、「㊤生活道路(路地)」71.0%、「㊣医療施設」69.1%

低い順でみると「㊠スポーツレジャー施設」48.5%、「㊢社会教育施設」50.9%、「㊡子育て施設、

㊣公共交通」59.3%



※重要度とは・・・「重要」+「やや重要」の回答をあわせた構成比。(以下、同)

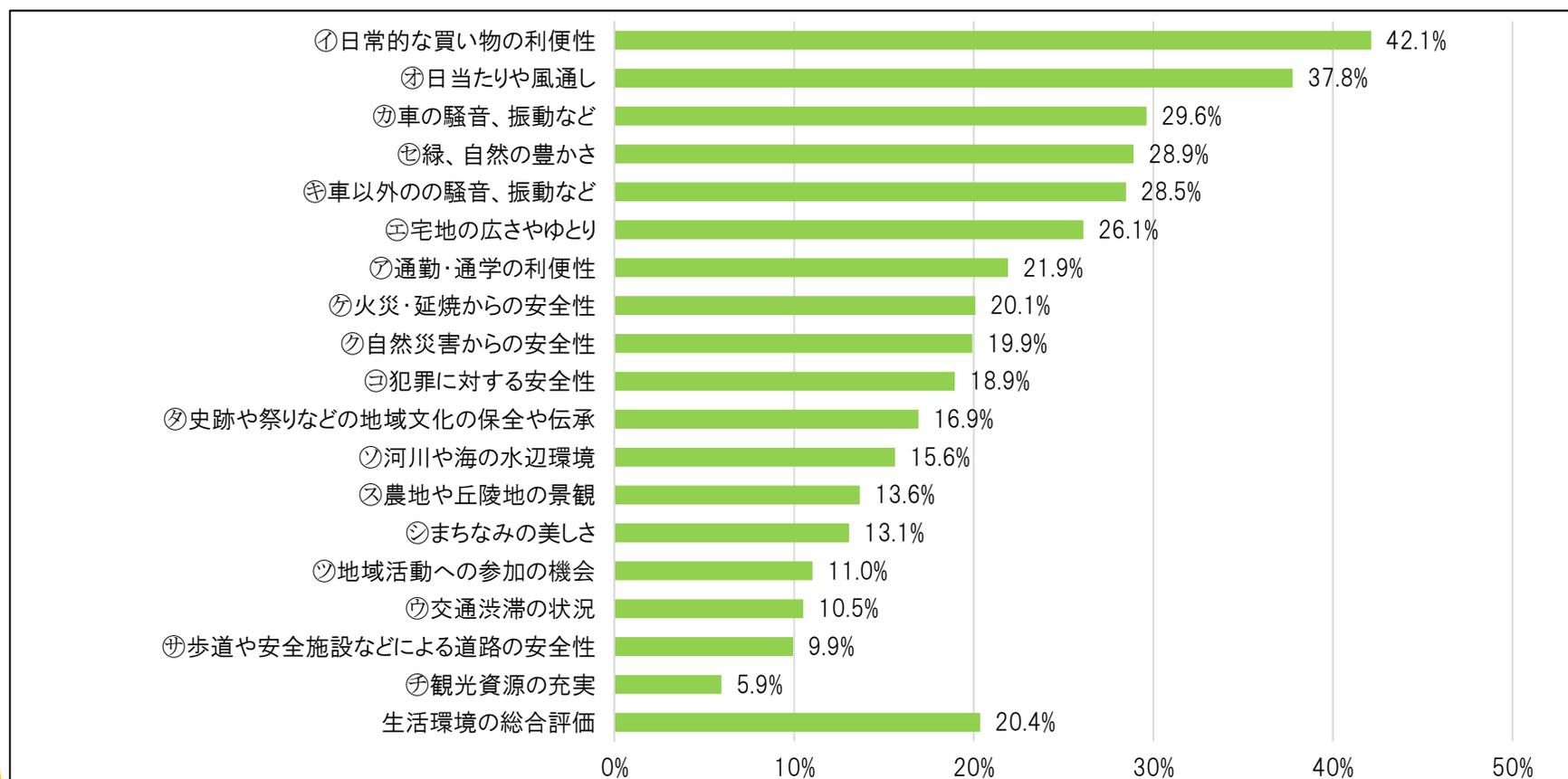
## 問12. お住まいの地域の「生活環境」について、日頃どのように感じていますか。

今回調査の **満足度** を

高い順でみると「①日常的な買い物の利便性」42.1%、「④日当たりや風とおし」37.8%、

「⑥車の騒音、振動など」29.6%

低い順でみると「⑩観光資源の充実」5.9%「⑨道路の安全性」9.9%、「⑮交通渋滞の状況」10.5%



## 問12. お住まいの地域の「生活環境」について、日頃どのように感じていますか。

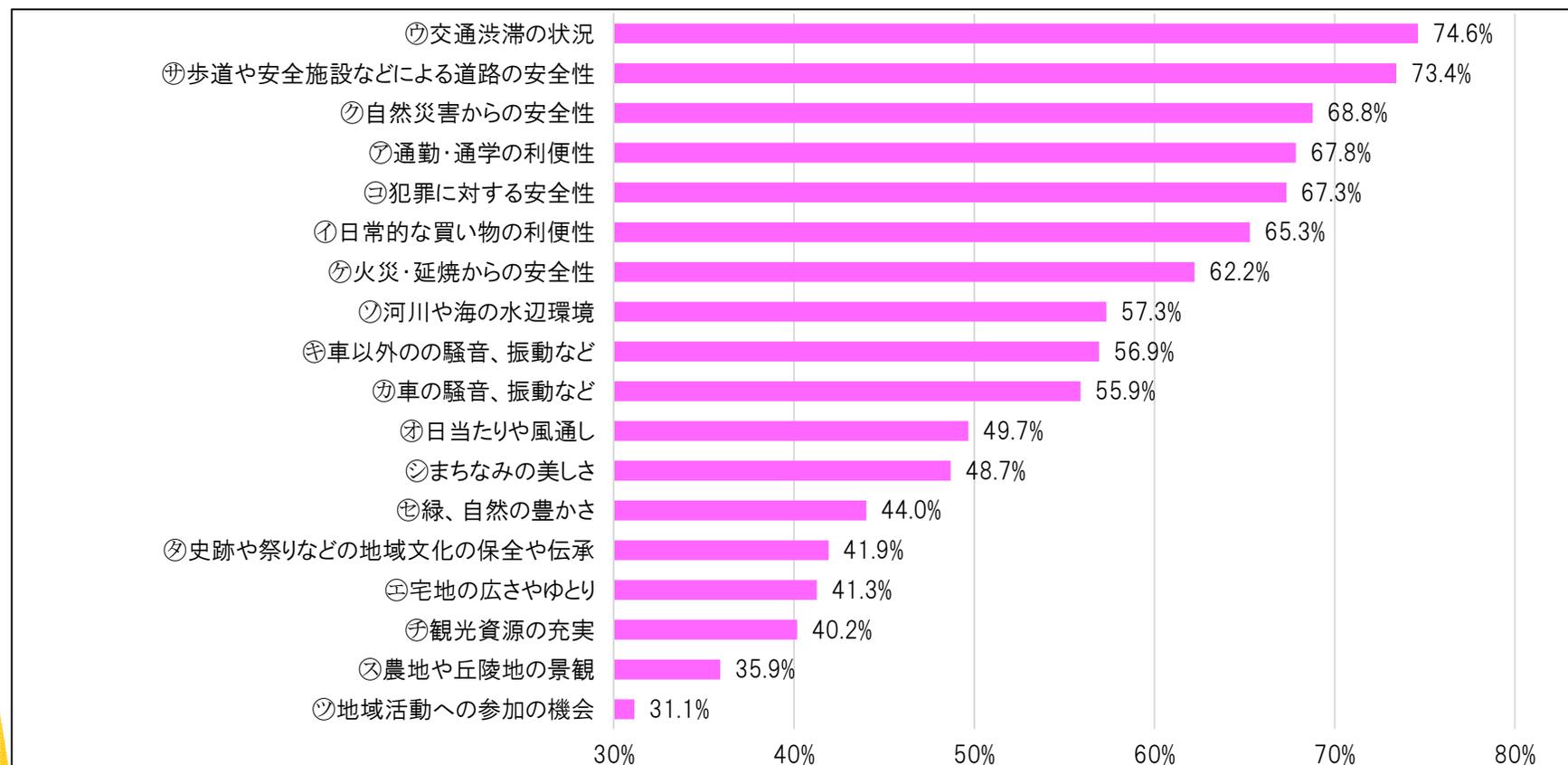
今回調査の **重要度** を

高い順でみると「㊦交通渋滞の状況」74.6%、「㊤道路の安全性」73.4%、

「㊣自然災害からの安全性」68.8%

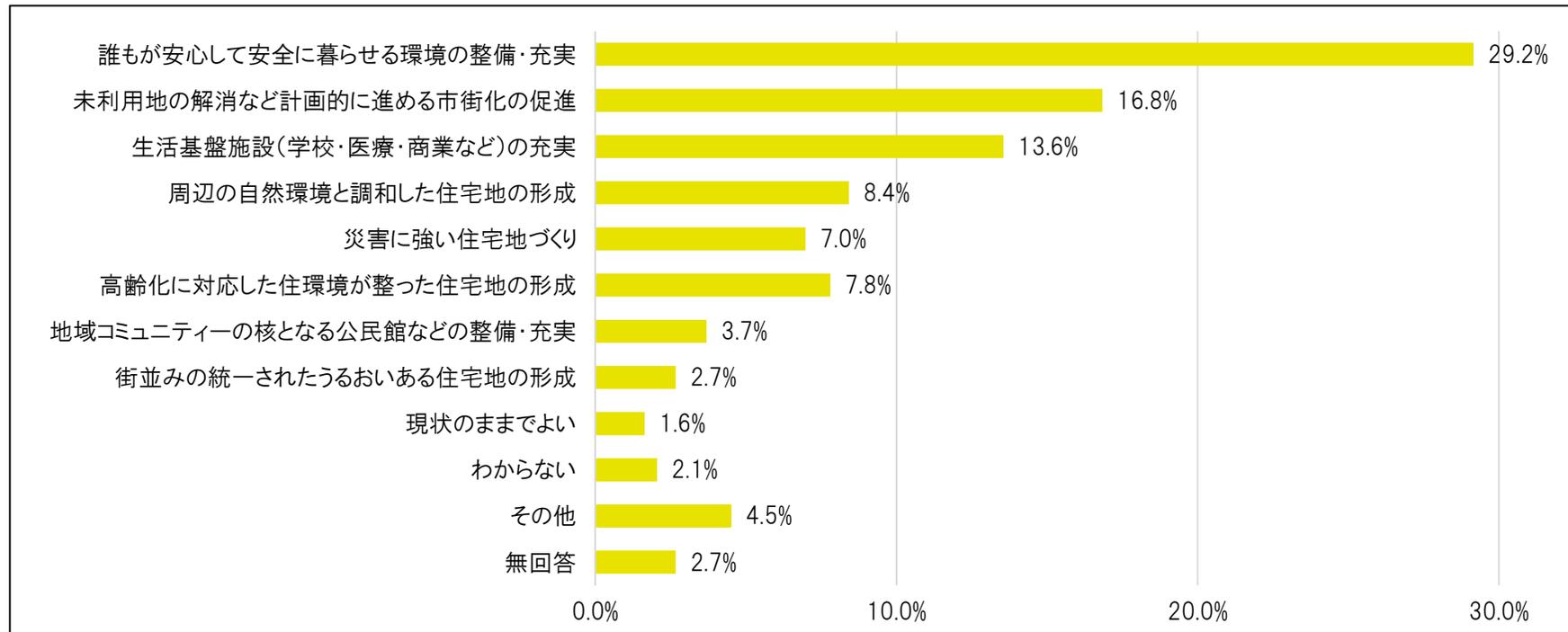
低い順でみると「㊞地域活動への参加の機会」31.1%「㊢農地や丘陵地の景観」35.9%、

「㊡観光地の充実」40.2%っている。



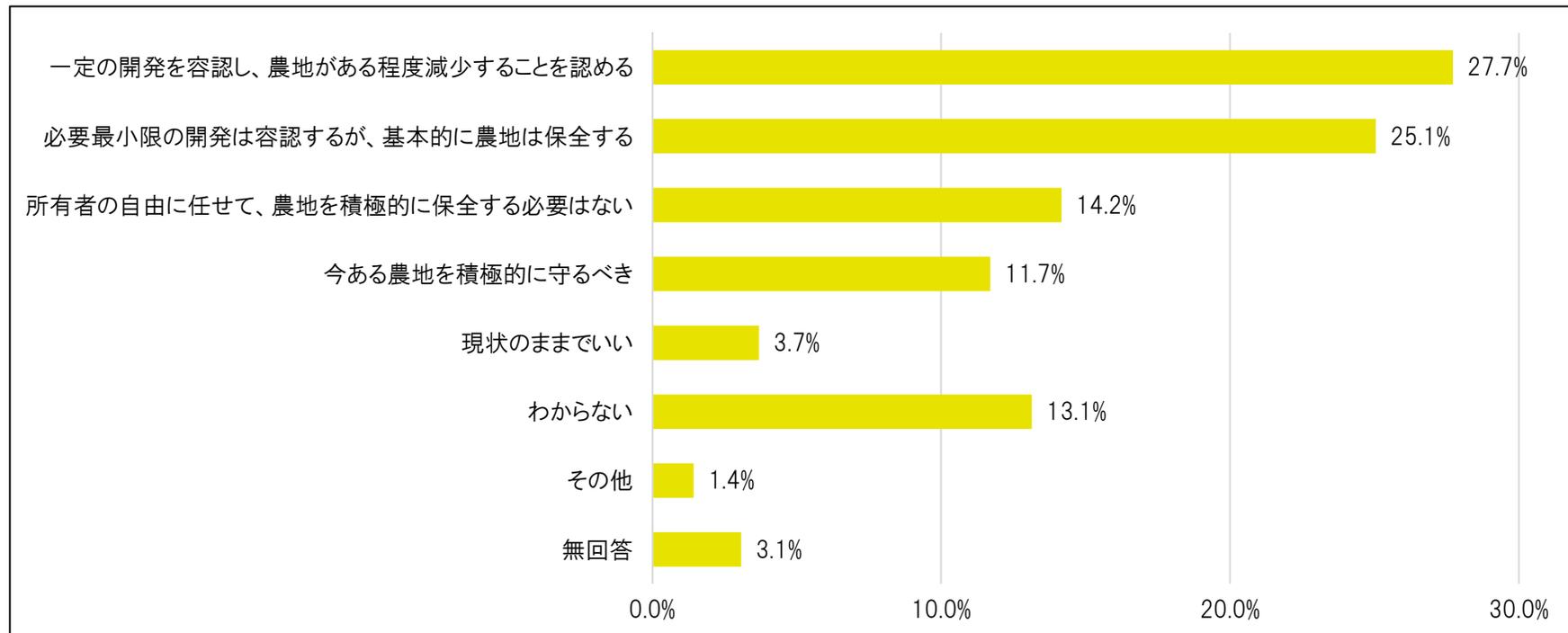
## 問15. これからの『住宅地のあり方』について、取り組むべきことは何だと思えますか。

「誰もが安心して安全に暮らせる環境の整備・充実」が29.2%（142/487票）と最も多く、  
次いで「未利用地の解消など計画的に進める市街化の促進」が16.8%（82/487票）となっている。



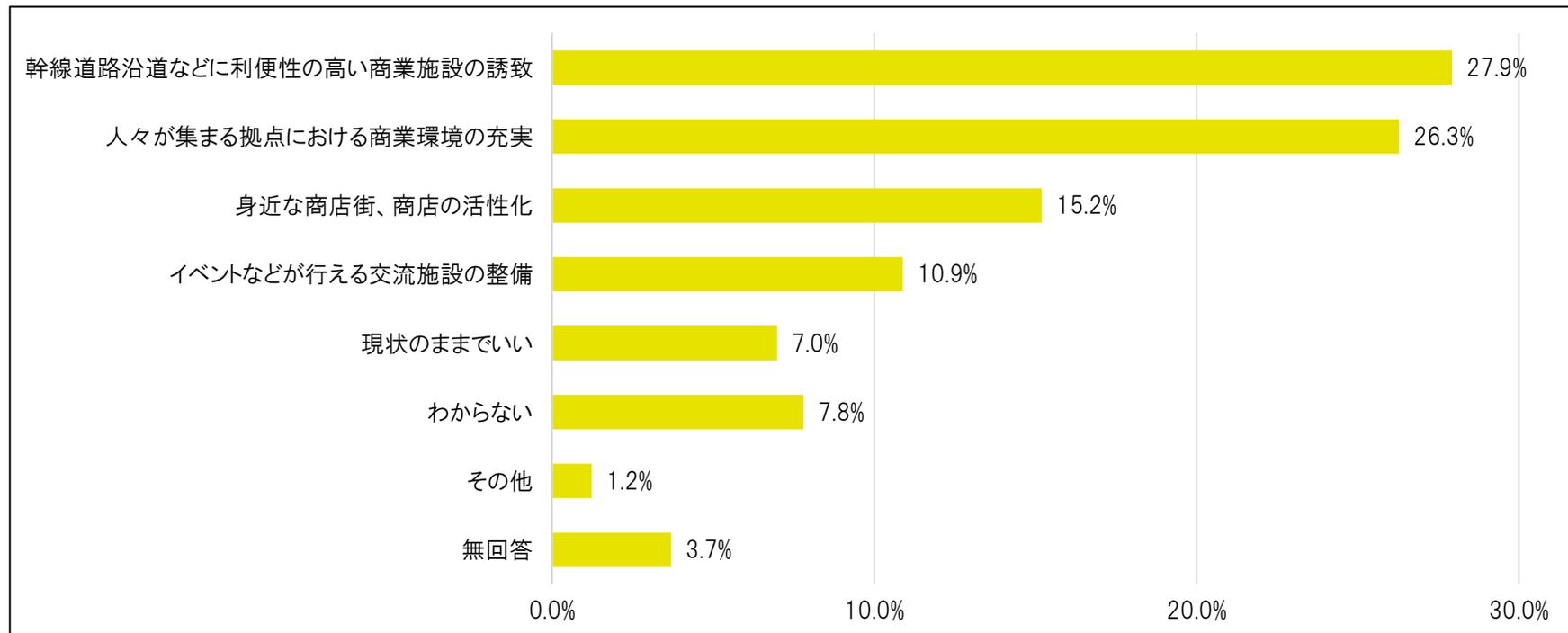
## 問16. これからの『農地のあり方』について、取り組むべきことは何だと思いますか。

「一定の開発を容認し、農地がある程度減少することを認める」が27.7%（135/487票）と最も多く、次いで「必要最小限の開発は容認するが、基本的に農地は保全する」が25.1%（122/487票）となっている。



## 問18. これからの『商業地のあり方』について、取り組むべきことは何だと思えますか。

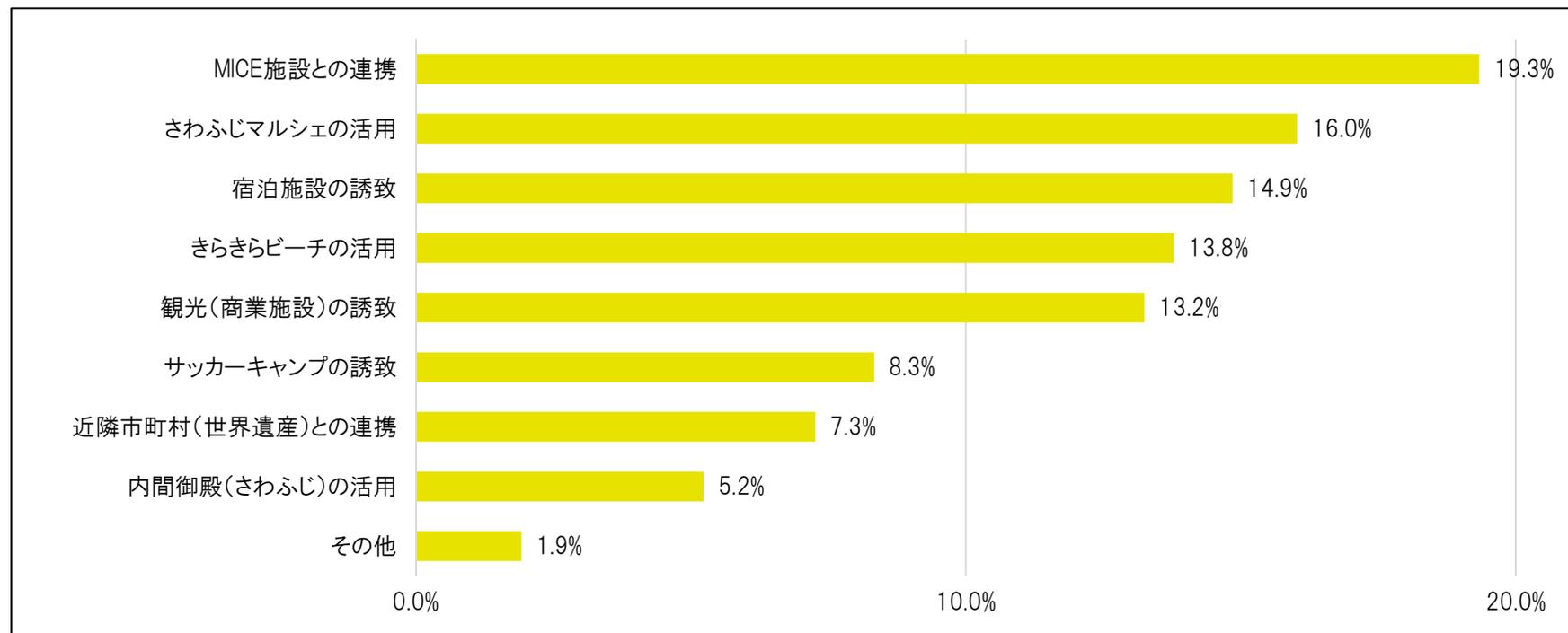
「幹線道路沿道などに利便性の高い商業施設の誘致」が27.9%（136/487票）と最も多く、次いで「人々が集まる拠点における商業環境の充実」が26.3%（128/487票）となっている。



## 問19. これからの『観光のあり方』について、取り組むべきことは何だと思いますか。

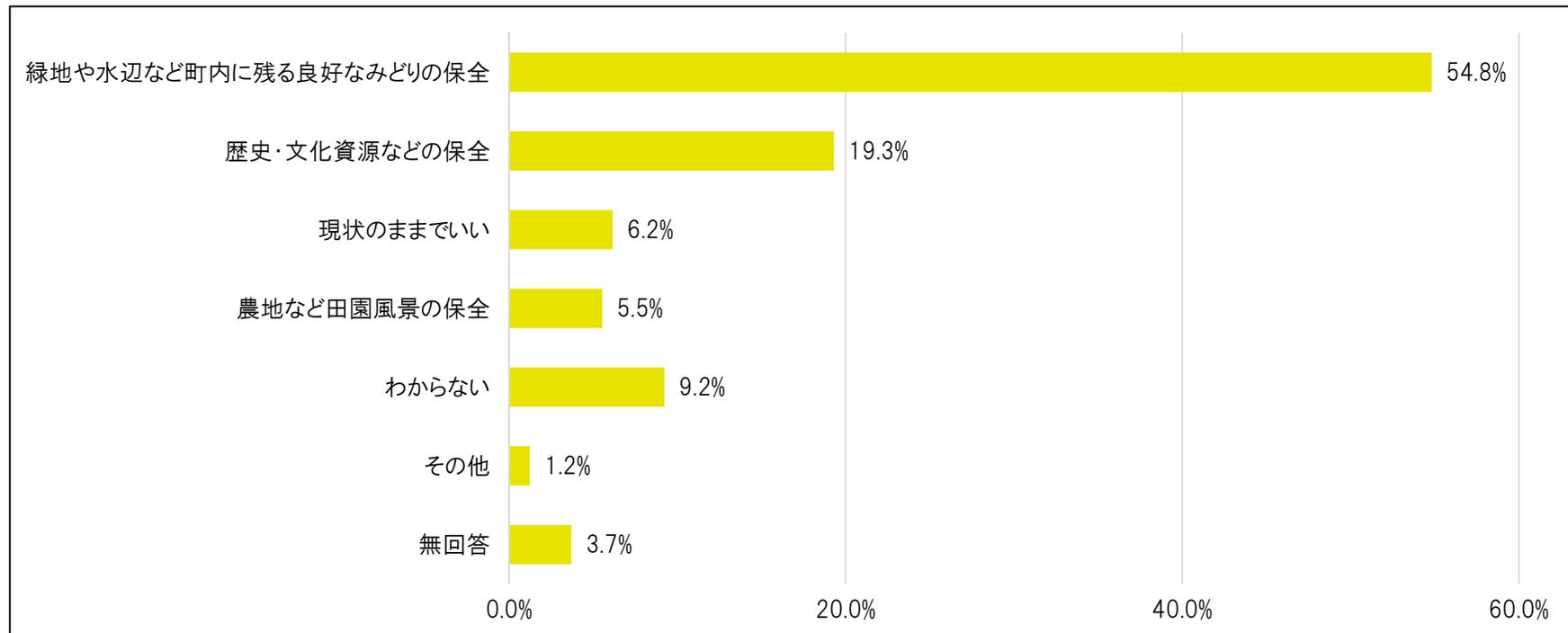
(3つまで選択可)

「MICE施設との連携」が19.3%（181/936票）と最も多く、  
次いで「さわふじマルシェの活用」が16.0%（150/936票）となっている。



## 問20. これからの『自然環境のあり方』について、取り組むべきことは何だと思いますか。

「緑地や水辺など町内に残る良好なみどりの保全」が54.8%（267/487票）と最も多く、次いで「歴史・文化資源などの保全」が19.3%（94/487票）となっている。



## Ⅱ. 高校生アンケート調査の概要

### 1. 調査の目的

- 西原都市計画マスタープランの策定にあたり、20年後の町で活躍する次世代を担う若い世代として、高校生を対象とした学生向けアンケート調査を行った。

### 2. 実施期間

- 令和5年2月1～28日を調査期間とした。

### 3. 調査対象

- 西原高校940名（内、町出身208名）、首里高校1,190名（内、町出身157名）、知念高校953名（内、町出身153名）（R4.4現在）を対象とした。

### 4. 実施方法

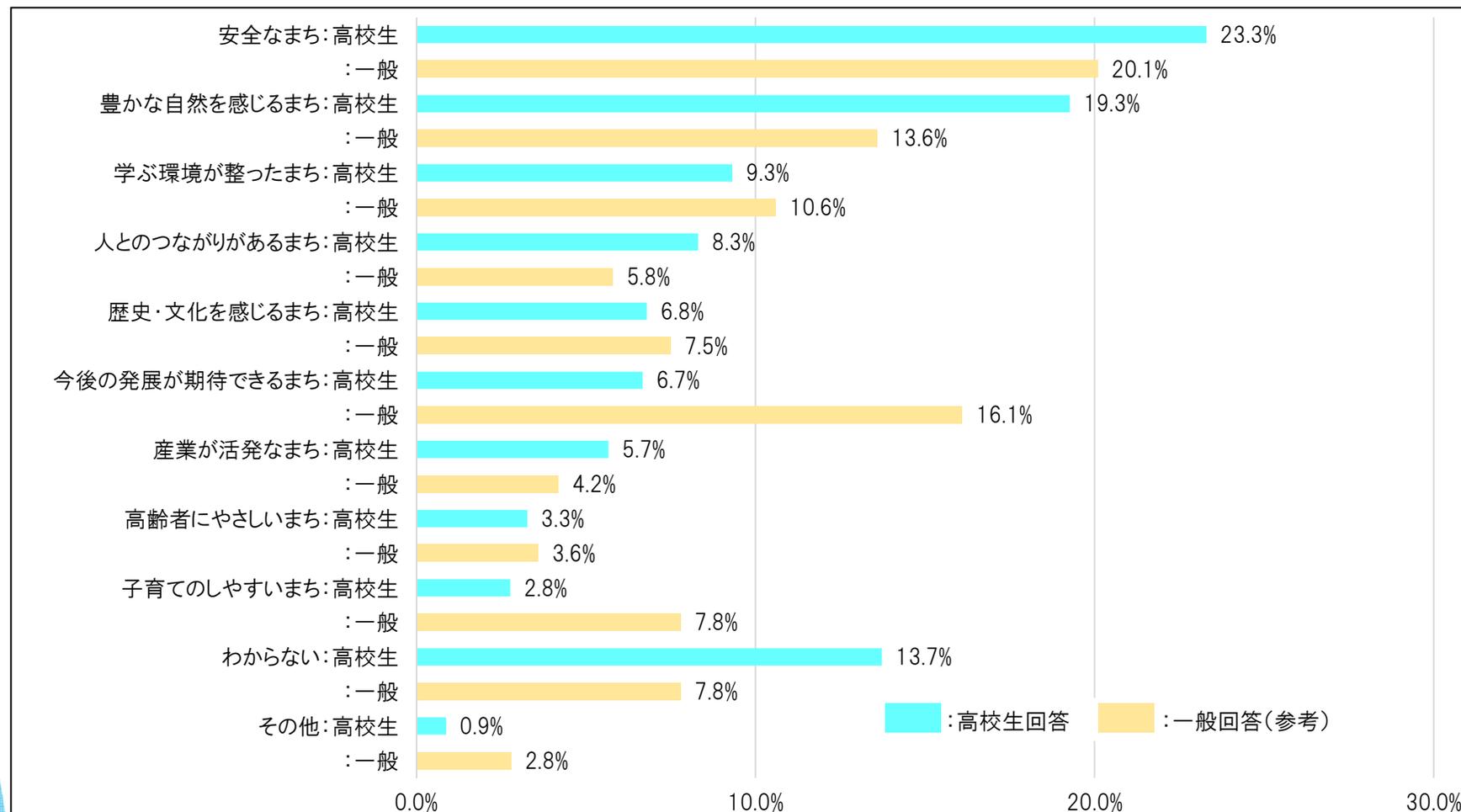
- 西原高校、首里高校、知念高校へWebアンケートのリンク用QRコードの配布を依頼し、Webアンケートフォームでの回収を行った。

### 5. 回収状況

- 458件の回答が得られた。

## 問8. あなたは西原町にどのような「印象」を持っていますか(3つまで選択可)

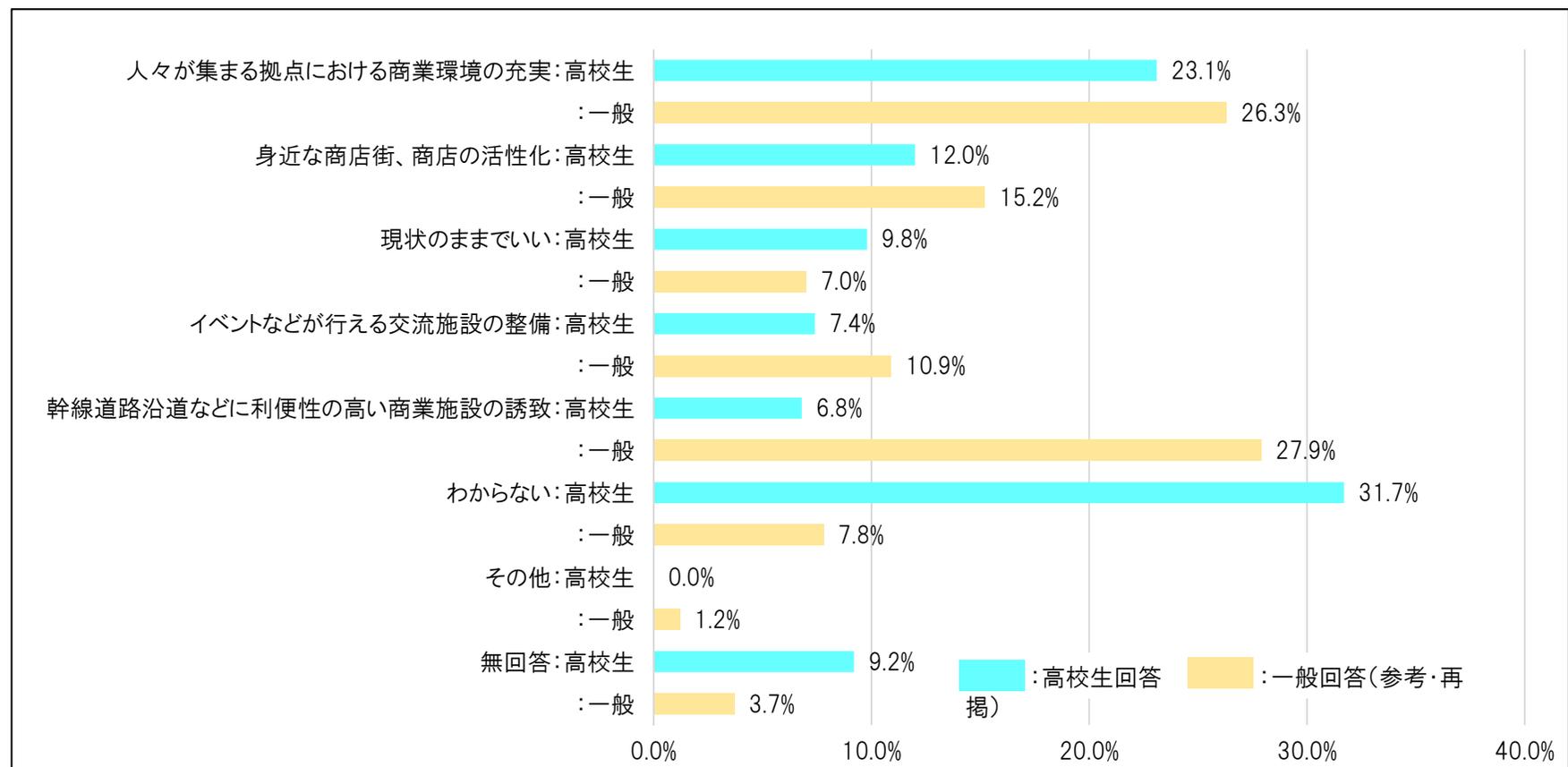
「安全なまち」が23.3%（185/794票）と最も多く、  
次いで「豊かな自然を感じるまち」が19.3%（153/794票）となっている。  
一般回答と比べると、「子育てのしやすいまち」の印象が低い結果となった。



## 問12. これからの『商業地のあり方』について、取り組むべきことは何だと思いますか。

「人々が集まる拠点における商業環境の充実」が23.1%（106/458票）と最も多く、次いで「身近な商店街、商店の活性化」が12.0%（55/458票）となっている。

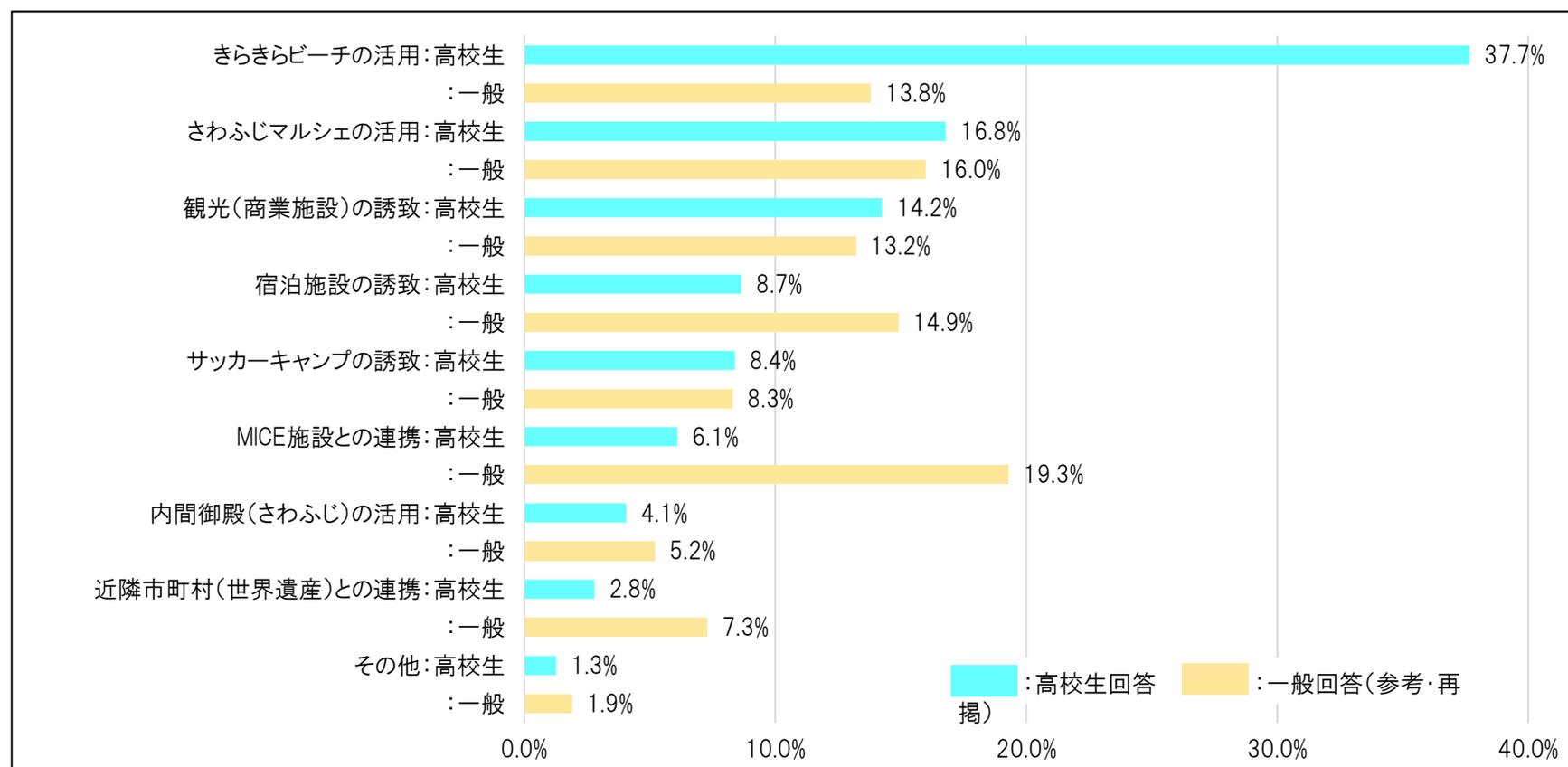
※具体的な意見や傾向をひろう為に、「わからない」という回答を除いた。（以下、同）  
一般回答と比べると、「幹線道路などに利便性の高い商業施設の誘致」が低くなる結果となった。



### 問13. これからの『観光のあり方』について、取り組むべきことは何だと思いますか。

「きらきらビーチの活用」が37.7%（148/393票）と最も多く、  
次いで「さわふじマルシェの活用」が16.8%（66/393票）となっている。

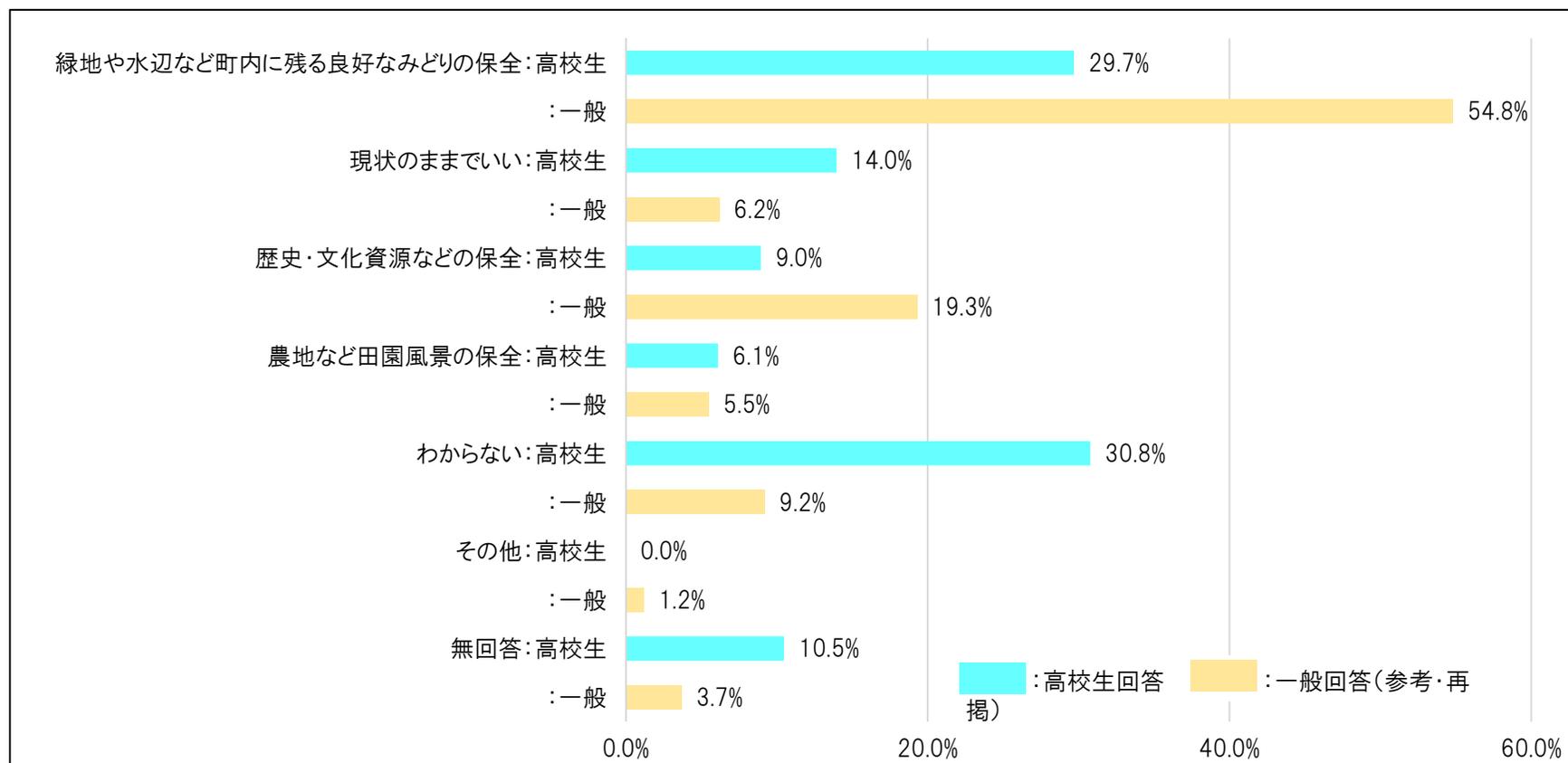
一般回答と比べると、「きらきらビーチの活用」が高くなり、「MICE施設との連携」が低くなる結果となった。



## 問14. これからの『自然環境のあり方』について、取り組むべきことは何だと思いますか。

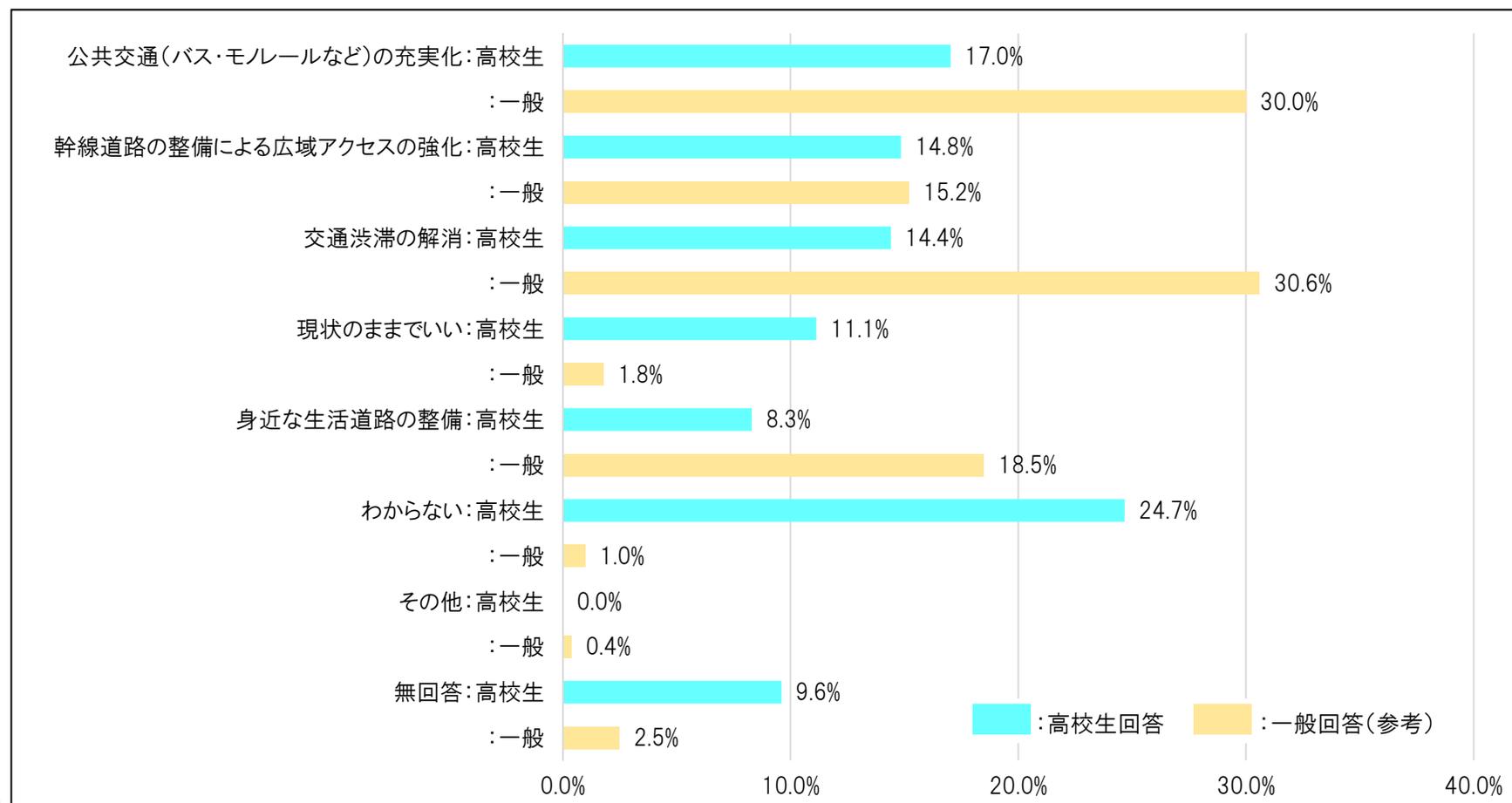
「緑地や水辺など町内に残る良好なみどりの保全」が29.7%（136/458票）と最も多く、次いで「現状のままでいい」が14.0%（64/458票）となっている。

一般回答と比べると、「現状のままでよい」という回答が高くなる結果となった。



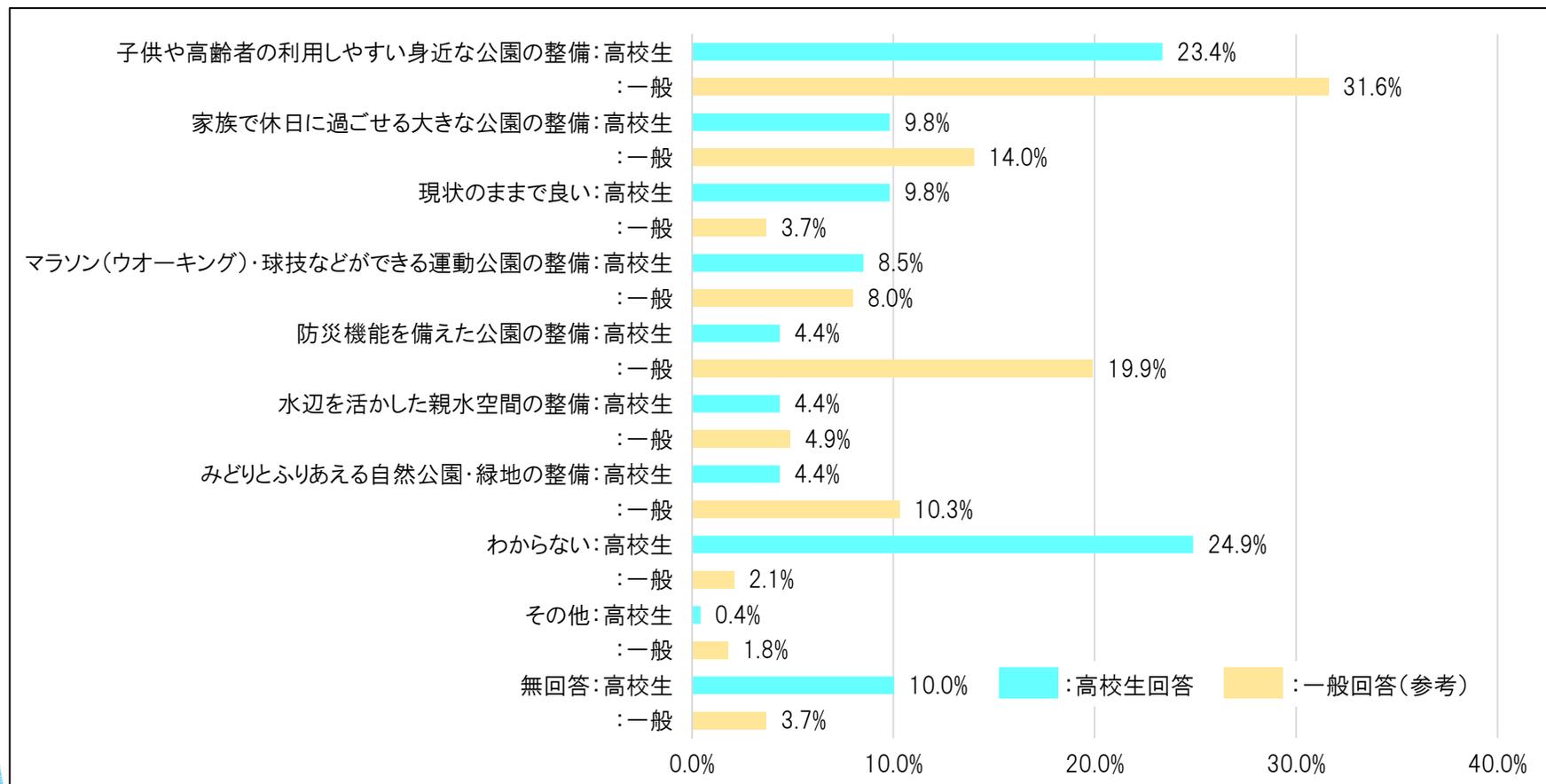
## 問16. これからの『交通環境のあり方』について、取り組むべきことは何だと思いますか。

「公共交通（バス・モノレールなど）の充実化」が17.0%（78/458票）と最も多く、次いで「幹線道路の整備による広域アクセスの強化」が14.8%（68/458票）となっている。一般回答と比べると、「交通渋滞の解消」や「身近な生活道路の整備」が低い結果となった。



## 問18. これからの『緑地・公園』について、取り組むべきことは何だと思えますか。

「子供や高齢者の利用しやすい身近な公園の整備」が23.4%（107/458票）と最も多く、次いで「家族で休日に過ごせる大きな公園の整備」、「現状のままでいい」が9.8%（45/458票）となっている。一般回答と比べると、「現状のままでいい」が高くなり、「防災機能を備えた公園の整備」が低くなる結果となった。



## Ⅲ. 中学生アンケート調査の概要

### 1. 調査の目的

- 西原都市計画マスタープランの策定にあたり、20年後の町で活躍する次世代を担う若い世代として、中学生を対象とした学生向けアンケート調査を行った。。

### 2. 実施期間

- 令和5年2月1～28日を調査期間とした。

### 3. 調査対象

- 西原中学校、西原東中学校の生徒1,089名（R4.4現在）を対象とした。

### 4. 実施方法

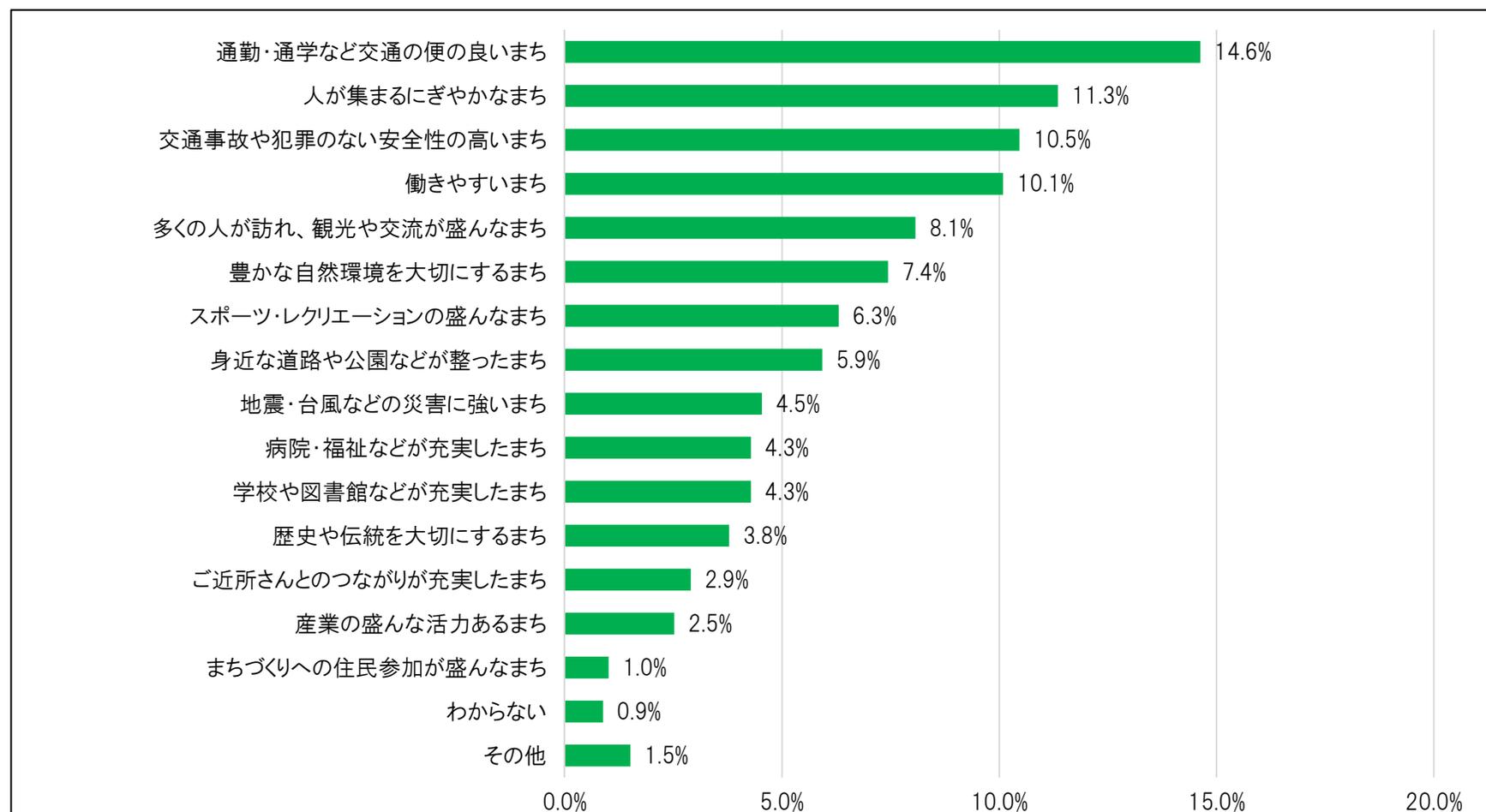
- 西原中学校、西原東中学校へWebアンケートのリンク用QRコードの配布を依頼し、Webアンケートフォームでの回収を行った。

### 5. 回収状況

- 287件の回答が得られた。

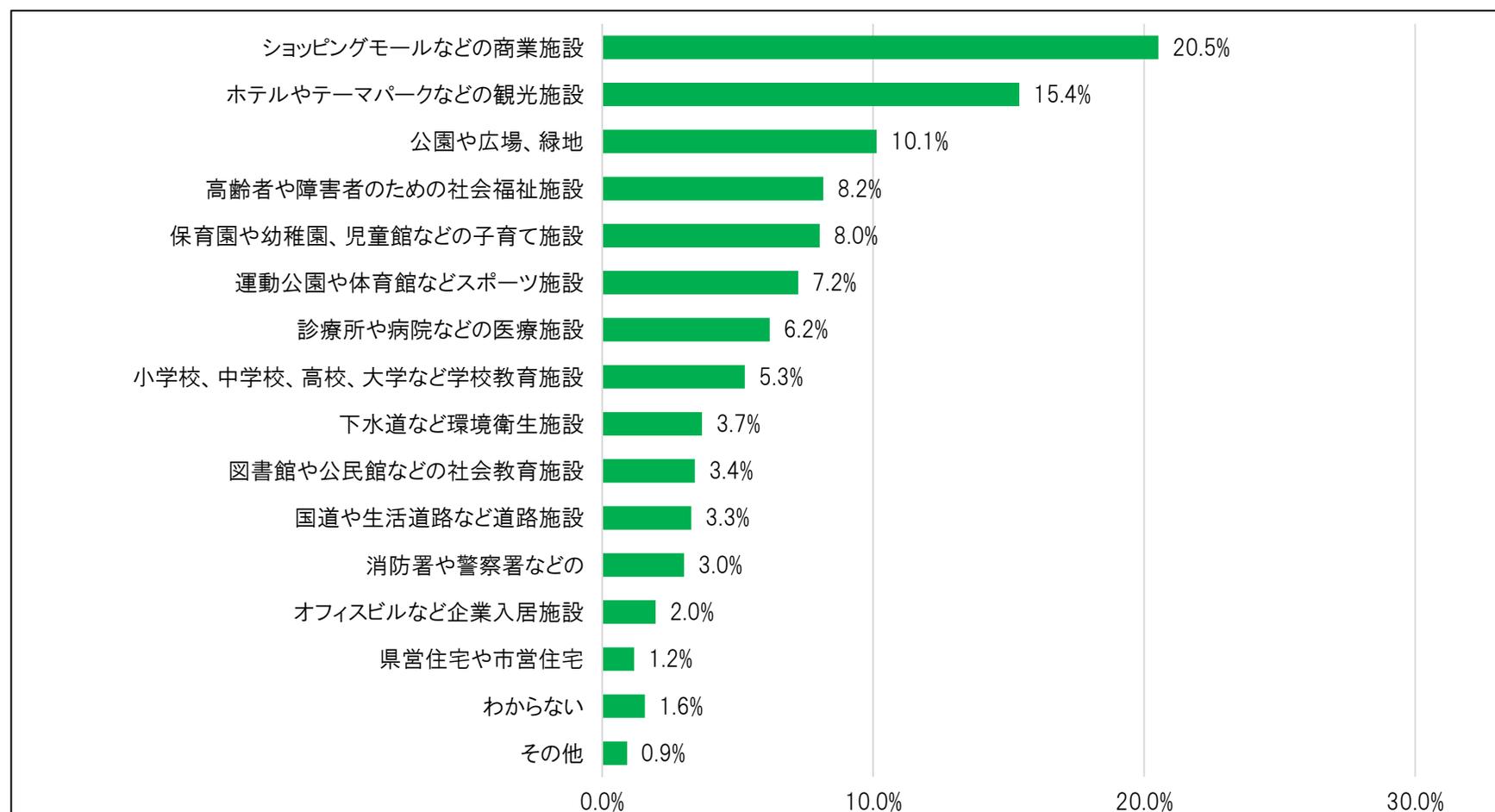
## 問5. あなたがこうなって欲しいと思う将来の西原町のすがたは、どのようなものですか。 (3つまで選択可)

「通勤・通学など交通の便の良いまち」が14.6%（116/793票）と最も多く、  
次いで「人が集まるにぎやかなまち」が11.3%（90/793票）となっている。



## 問6. “問5”で選んだまちをめざすには、どのような施設が必要だと思いますか。 (3つまで選択可)

「ショッピングモールなどの商業施設」が20.5%（156/760票）と最も多く、  
次いで「ホテルやテーマパークなどの観光施設」が15.4%（117/760票）となっている。



説明は以上になります。

ありがとうございました。



ご不明な点があれば、ご説明致します。

お手数をおかけしますが、下記の連絡先にご連絡下さい。

## お問い合わせ先



**西原町 建設部 都市整備課**

〒903-0220

沖縄県中頭郡西原町与那城140番地の1

TEL:098-945-4496

FAX:098-946-6086

